

道路占用申請に関わる参考資料について

日頃、県の道路行政に関して、御理解と御協力を頂きまして厚くお礼申し上げます。

標記について、下記のとおり、申請書の“参考資料”を作成しました。実際の申請に当たっては、各担当地区の管理班道路担当・工事班長に相談・確認してください。

記

●申請書の“参考資料”

- 1 申請書（鑑）
- 2 申請理由書
- 3 変更申請の場合、前回の許可書・明細書の写し
- 4 位置図
- 5 案内図
- 6 公図写し
- 7 実測平面図
- 8 実測横断面図
- 9 詳細図（必要に応じて、構造図、舗装復旧図、求積図等）
- 10 交通規制図（平面図、横断図）
- 11 現況写真
- 12 地下埋設物の確認資料
→ ①各市町の上下水道、②中部電力、③NTT、④静岡ガス、
⑤静浜パイプライン、⑥静岡県企業局 など
- 13 道路占用に伴う道路台帳補正調書
- 14 その他：道路管理者が求める資料

※ 各資料の作成に当たっては、次ページ以降のサンプルを参考にしてください。

様式第五（第四条の三関係）（用紙 A 4）

道路占用 許可申請 書
協 議

新 規	更 新	変 更	(番 号) 平成 年 月 日
--------	--------	--------	-------------------

静岡県知事 様

平成 年 月 日

〒
住 所
氏 名
担当者
TEL

道路法 第 32 条 の規定により 許可を申請 します。
第 35 条 協 議

占用の目的	上水道引込管理設のため		
占用の場所	路線名	主要地方道 吉田大東線	車道 ・ 歩道 ・ その他
	場所	榛原郡 吉田町 神戸 字青柳 3038-17 地内	
占用物件	名 称	規 模	数 量
	上水道引込管	φ 20 外径 27mm	L=0.7m
占用の期間	許可日から 平成 年 月 日まで	占用物件 の 構 造	水道用ポリエチレン 1 種二層管 (JIS K6762)
工事の期間	許可日から (うち〇〇日間) 平成 年 月 日まで	工 事 実 施 の 方 法	請負工事
道路の 復旧方法	現況復旧	添 付 書 類	理由書、位置図、案内図、公図写 平面図、横断図、構造図 現況写真、地下埋設調査資料
備 考	昼施工 9 : 00 ~ 16 : 00 (施工業者) 車道幅員減少規制・歩道規制 牧之原市▽◇123 N5 (B) 交通 ○▽株式会社 静岡太郎 TEL:0545-12-3456		

鑑の文字・数量等は、添付資料と見比べるため、添付資料の旗上げ等の文字・数量等と整合を図る。

記載要領

1 「許可申請 協 議」、「第 32 条 第 35 条」及び「許可を申請 協 議」については、該当するもの

2

新 規	更 新	変 更
--------	--------	--------

 については、該当するものを○で囲み、更新、変更の場合には、従前の許可書又は

回答書の番号及び年月日を記載すること。

3 申請者が法人である場合には、「住所」の欄には主たる事務所の所在地、「氏名」の欄には名称及び代表者の氏名を記載するとともに、「担当者」の欄に所属・氏名を記載すること。

4 「場所」の欄には、地番まで記載すること。占用が 2 以上の地番にわたる場合には、起点と終点を記載すること。

「車道・歩道・その他」については、該当するものを○で囲むこと。

5 変更の許可申請にあっては、関係する欄の下部に変更後のものを記載し、上部に変更前のものを () 書きすること。

6 「添付書類」の欄には、道路占用の場所、物件の構造等を明らかにした図面その他必要な書類を添付した場合に、その書類名を記載すること。

申請理由書

県道沿の住宅新築計画に伴い、上水道管の接続申請があったため、県道への上水道引込管の占用を申請します。



(出典：静岡県 GIS)

位置図

縮尺・1/2,500~1/50,000
もしくは
各市町が A4 におさまる程度の縮尺



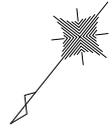
(出典：静岡県 GIS)

案内図 1/2, 300

上のサンプル もしくは ゼンリン程度 の縮尺。A4 サイズ

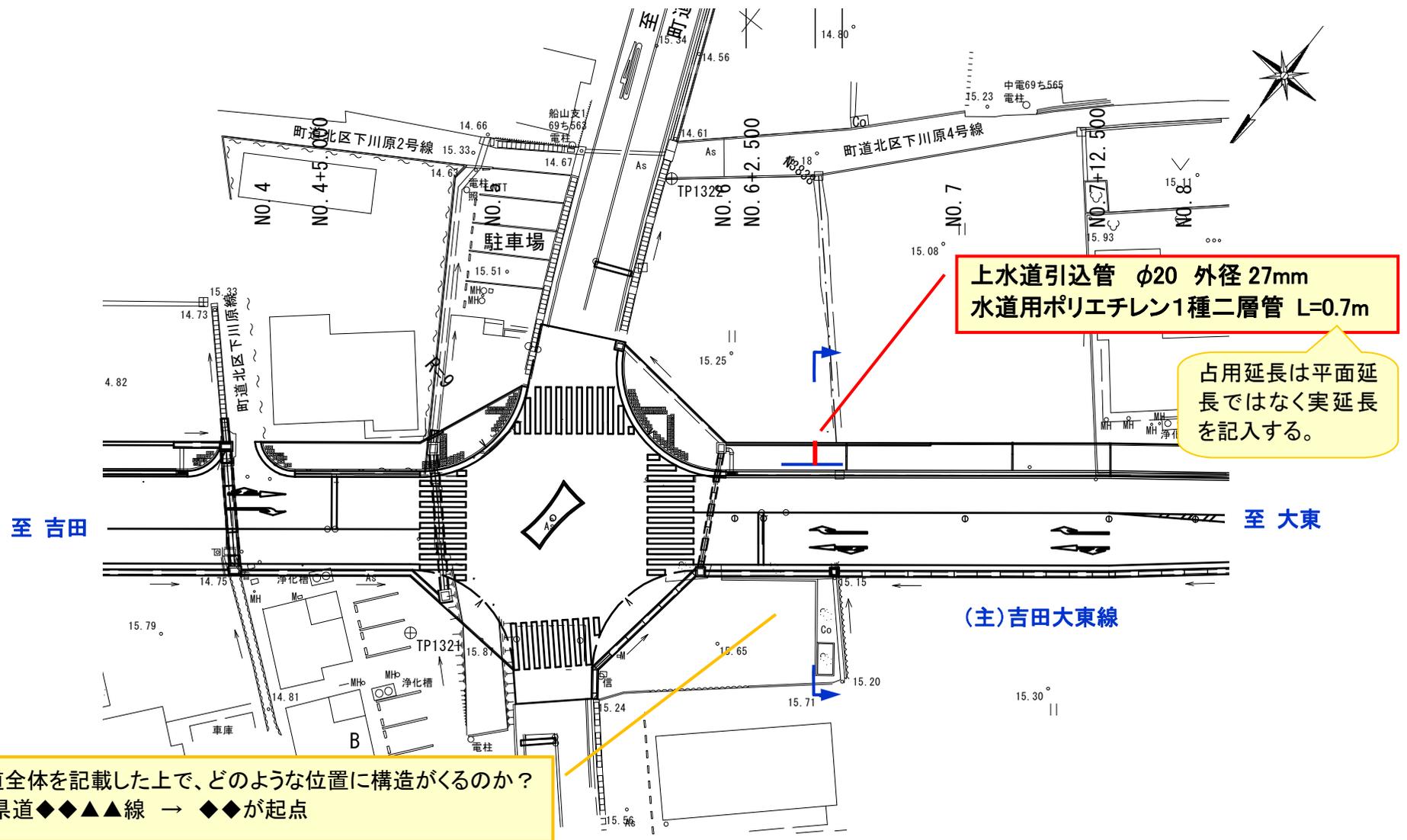
榛原郡吉田町神戸

字 青柳



公図写し 1/▲▲

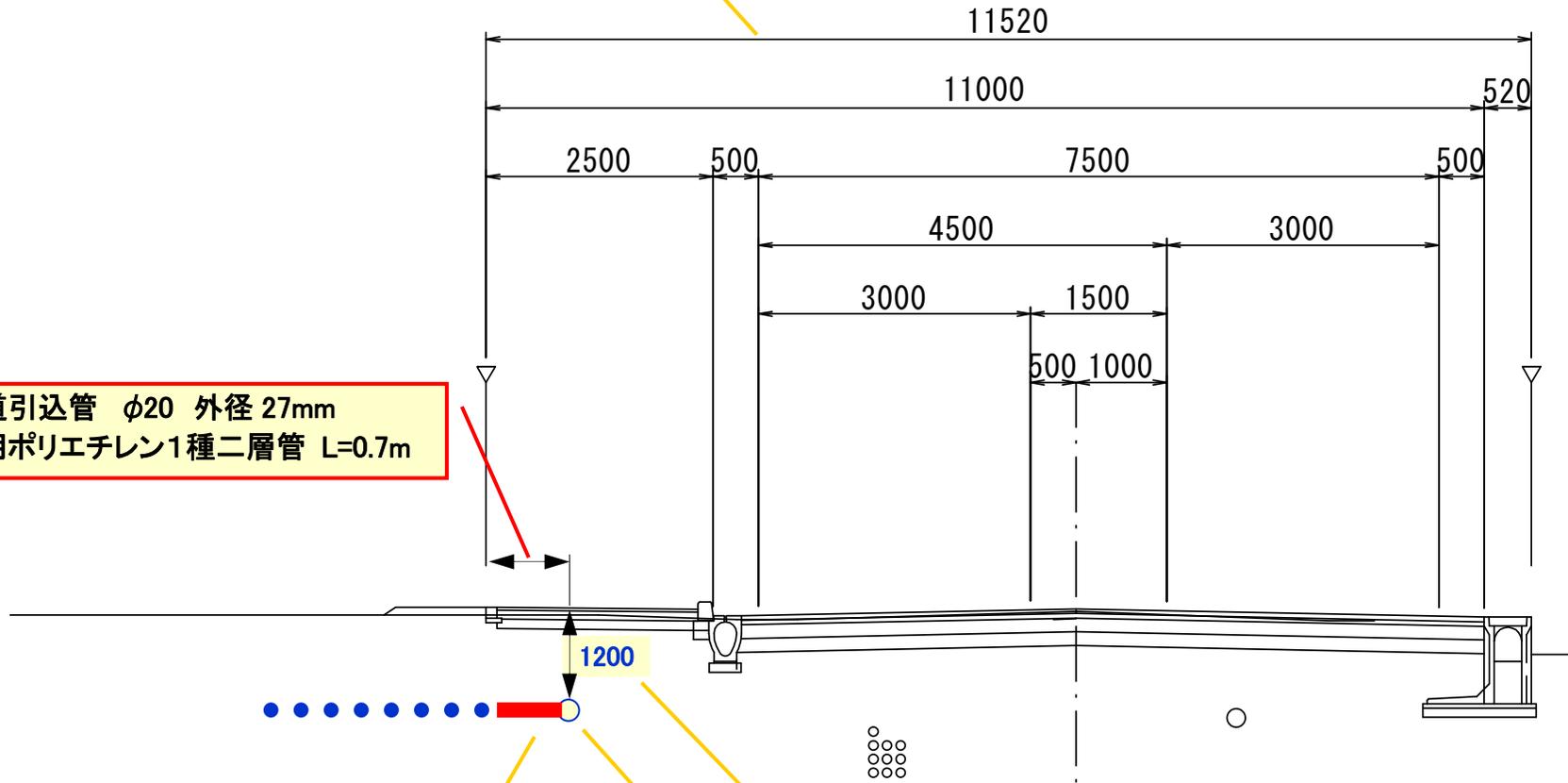
最新の公図写し もしくは それに準ずるもの。
公図写しに準ずるものを用いる場合、“榛原郡吉田町神戸字青柳” など
市町～字名までを記載。



平面図 1/●● 縮尺・1/250~1/500

道路の全体幅員・各幅員がわかるように。

上水道引込管 $\phi 20$ 外径 27mm
水道用ポリエチレン1種二層管 L=0.7m



埋設位置(横断方向)、路面と管頂部の距離が分かるように旗上げ等を追記する。

管頂部と路面との距離は、道路横断上の占用位置、管路の種類・管径などにより変わる。

横断面図

1/●●

横断上の県道全体を記載した上で、どのような位置に構造がくるのか？
起点から終点を望む。県道◆◆▲▲線 → ◆◆から▲▲を望む。

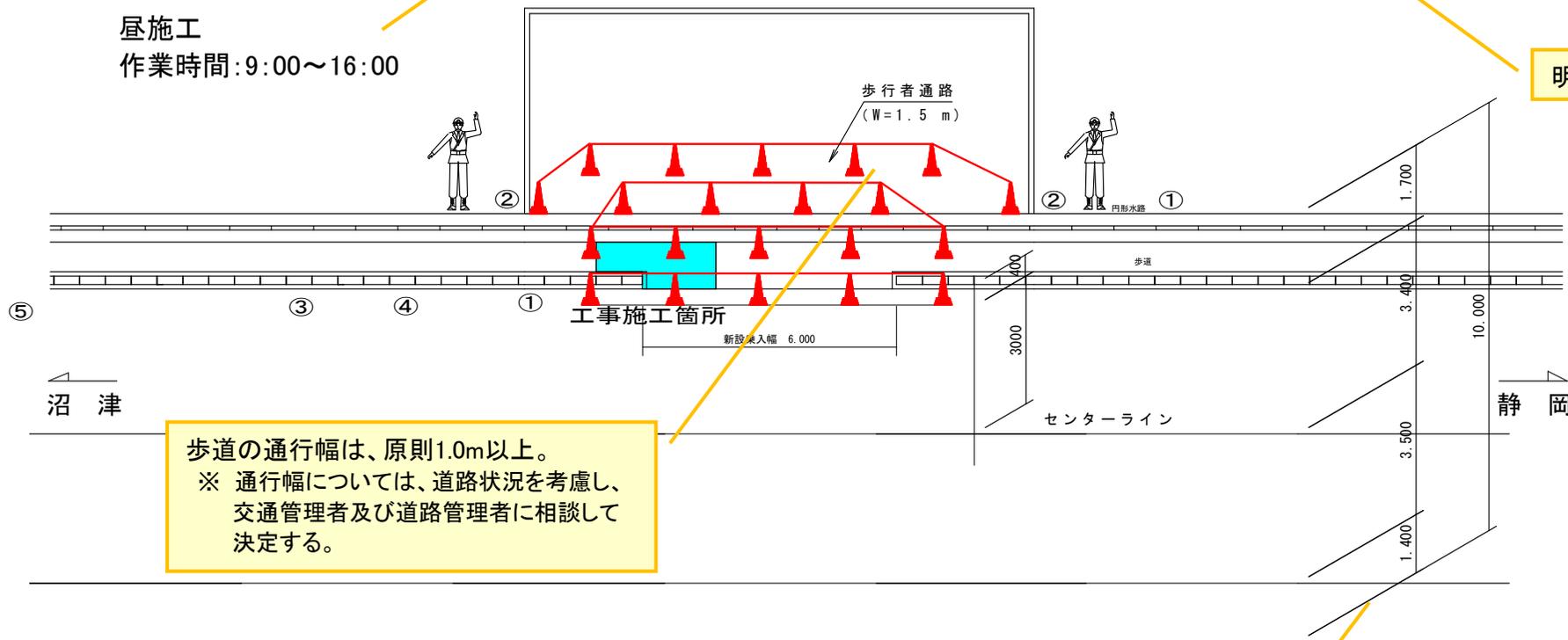
交通規制図

通勤・通学に配慮。

* 交通整理員が、歩行者・自転車・車両を安全に誘導します。

昼施工
作業時間: 9:00~16:00

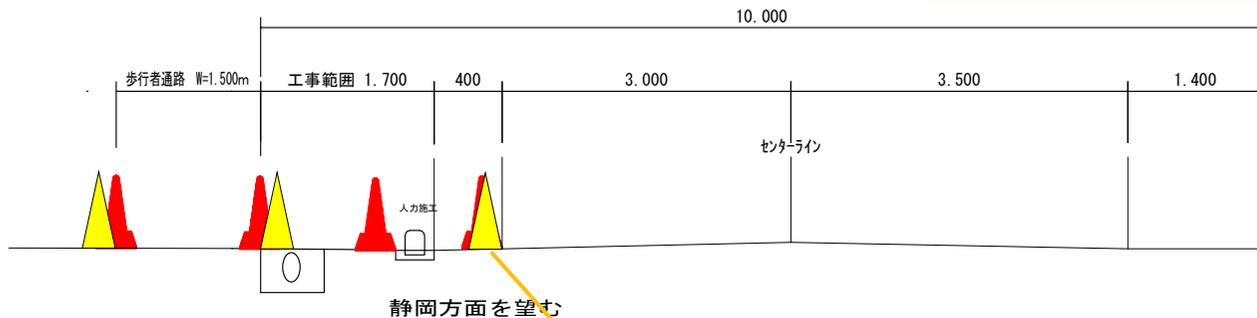
明記する。



歩道の通行幅は、原則1.0m以上。
※ 通行幅については、道路状況を考慮し、
交通管理者及び道路管理者に相談して
決定する。

断面図 S=1/50

道路の全幅員・各幅員がわかるように。



凡例

①	②	③	④	⑤

カラーコーンの位置。カラーコーンは有効幅員からはずす。赤は×。黄色が○。

交通規制図：横断面図の書き方 (例)

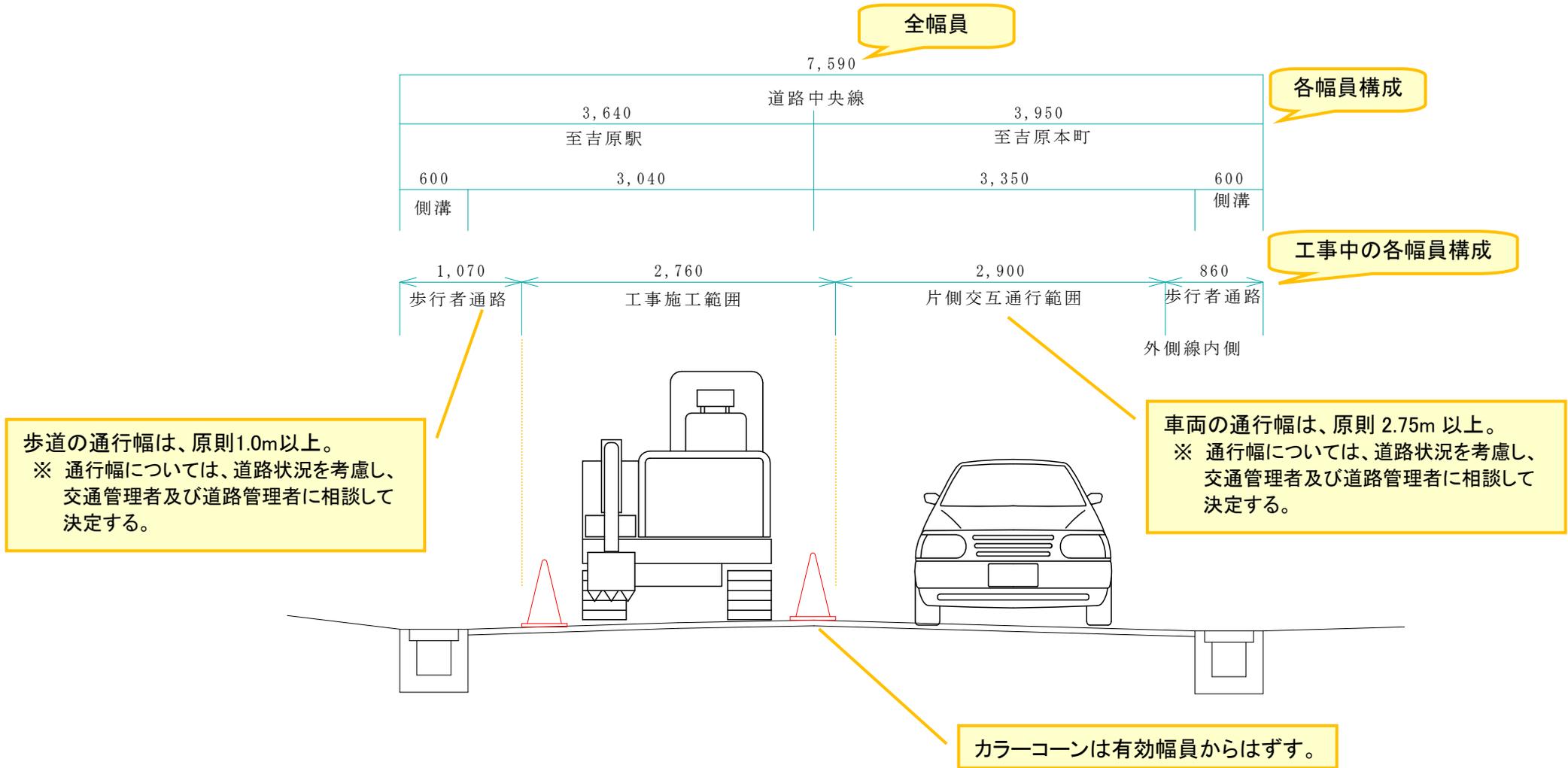




写真-1 起点から終点を望む (全景)



写真-2 終点から起点を望む (全景)



写真-3 起点から終点を望む (近景)



写真-4 終点から起点を望む (近景)



写真-5 正面から望む (近景)

その他注意事項

- ◎ 申請書の工事の期間に「うち〇日間（程度）」を記載。
- ◎ 通行規制図に次の事項を忘れずに記入。
 - ・ 汎用的な規制図を使用せず、工事個所の平面図を使用して作成すること。
 - ・ 平面図に、道路全幅員、その内訳構成（車道・路肩・歩道・規制・通行可能幅員等）を記載すること。
 - ・ 歩道、路肩規制時の歩行者の通行経路、通行可能幅員。歩行者用の幅員は原則1.0m以上。
 - ※ 通行幅については、道路状況を考慮し、交通管理者及び道路管理者に相談して決定する。
 - ・ 平面図に“※ 交通整理人が、車両・自転車・歩行者を安全に誘導します”と大きめの文字で明記すること。
- ◎ 着手届、完了届の提出。
- ◎ 工期延期の場合は、遅くとも工期完了2週間前までに提出。
- ◎ 舗装復旧後に、騒音・振動の苦情が増えている。
転圧管理を十分に行うこと。仮復旧の期間は1ヶ月以上とすること。
（無理な工程で施工しないこと）
本復旧範囲について、近接する位置に舗装の打継ぎがある場合、これを考慮して復旧範囲を検討すること。
- ◎ 仮舗装復旧時に本復旧範囲のカッターを入れてしまうことがある。長期間放置した場合、舗装の劣化、路盤への悪影響を招く場合があることから、行わないこと。
- ◎ 電柱の占用の場合、建柱位置を正確に平面図に示すこと。
電柱に対する架空線の方角を平面図に記入すること。

以 上